

Iwami Art Museum

令和2
[2020]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2020- March 2021

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	14
その他の展覧会	22
ミュージア	23
教育普及活動	24
新聞・雑誌への寄稿	26
ボランティア	27
各種割引	28
所蔵作品一覧	32
新収蔵作品一覧	47
所蔵作品貸出実績	50
入館者数一覧・パスポート会員数一覧	51
収支概要	52
島根県芸術文化センター条例	53
島根県立石見美術館管理規則	58
施設概要	61
運営組織体制	64
利用案内	65

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ	令和2年4月18日～6月8日(中止)
	展示室D・A	開館15周年記念企画展 北斎-永田コレクション名品展	令和2年9月26日～11月23日
	展示室D・A	生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜	令和2年12月25日～令和3年2月20日
	展示室D・A	ファッション イン ジャパン 1945-2020-流行と社会	令和3年3月20日～5月16日
	展示室C	ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 コズミックワンダーと工藝ばんくす舎 ノノ かみと布の原郷	令和3年3月20日～5月16日
特別展	展示室C	受贈記念 澄川喜一展	令和2年9月10日～11月30日
	展示室C	文化勲章受章記念 澄川喜一展	令和2年12月3日～令和3年2月15日
コレクション展	展示室A	静と動	令和2年3月18日～6月22日
		異国へのあこがれ	令和2年6月24日～7月27日
		人物画の魅力	令和2年7月29日～9月20日
		雪舟を受け継ぐ	令和2年11月27日～12月19日
	展示室B	機械とファッション	令和2年3月18日～6月22日
		ロシア・アヴァンギャルド	令和2年6月24日～7月27日
	展示室C	キカガク×アート	令和2年3月27日～7月13日
森村泰昌		令和2年7月17日～9月7日	
その他の展覧会	展示室D	第53回島根県総合美術展(県展)移動展	令和2年12月3日～12月6日
		第53回島根県高校美術展	令和2年12月11日～12月14日
		全島根小中学校図画作品展益田展	令和3年2月26日～2月28日
		第39回益田市美術展	令和3年3月4日～3月7日(中止)

※令和2年4月11日から5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため美術館休館

企画展 竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ



ポスター

展覧会名：企画展 竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ

会 期：令和2年4月18日(土)～6月8日(月)【中止】

休 館 日：毎週火曜日(5月5日は開館)

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、中国新聞社

特別協力：竹久夢二文学館神戸文庫有限会社

企画協力：株式会社アートワン

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：開館15周年記念企画展 北斎-永田コレクション名品展

会 期：令和2年9月26日(土)～11月23日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし11月3日は開館)、11月4日(水)

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSK さんいん中央テレビ

特別協力：島根県立美術館

協 力：津和野町/津和野町教育委員会

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

江戸時代後期の浮世絵師、葛飾北斎(1760～1849)に関する個人コレクションの中で、質、量ともに世界屈指の水準を誇る「永田コレクション」を紹介した。同コレクションは、島根県津和野町出身の北斎研究者、永田生慈氏(1951～2018)が蒐集した作品群で、2017年度に島根県へ一括寄贈された。本展は、島根県西部では寄贈後の初公開として、「永田コレクション」の主要な作品約330点を前期・後期に分けて紹介した。

内容は6章構成とし、北斎のデビューから最晩年まで、画業全体を見通せる展示とした。展示会場には、永田生慈氏による書籍や論文での言葉も合わせて紹介し、同氏の北斎観を感じられるように工夫した。石見ゆかりの作品として、津和野藩主・亀井家に伝わった北斎作品である「津和野藩伝来摺物」も紹介した。

展覧会では「永田コレクション」を保管する島根県立美術館と共同で、北斎や永田コレクションに関するわかりやすいガイドブック(和文英文併記)を作成し、益田市近隣の小中学生や来場者へ配布した。

永田生慈氏が津和野町出身ということもあり、石見地域の方々の来館も多く、地域の方に世界屈指の「永田コレクション」を見ていただける貴重な機会となった。津和野町の(有)山田竹風軒とコラボし、津和野名産の源氏巻に北斎の《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》と《富嶽三十六景 凱風快晴》の焼印を押し、包装紙も企画展仕様として会期中に販売した。美術館ロビーには津和野町と益田市の日本遺産紹介コーナーを設け、本展を見た後、津和野や益田を周遊できるような仕掛けも行った。

新聞掲載

山陰中央新報9月10日 展覧会紹介記事

新美術新聞9月11日 展覧会広告

いわみりびえーる9月13日 展覧会広告

新美術新聞9月21日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月25日 大森 拓士 寄稿

山陰中央新報9月26日 角野 広海 寄稿

読売新聞9月26日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月27日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月28日 講演会記事

週刊さんいん学聞9月30日 展覧会紹介記事

毎日新聞10月1日 展覧会紹介記事

中国新聞10月20日 展覧会紹介記事

毎日新聞10月22日 展覧会紹介記事

山陰中央新報10月28日 角野 広海 寄稿

山陰中央新報10月29日 展覧会紹介記事

山陰中央新報10月29日 角野 広海 寄稿

毎日新聞11月2日 展覧会紹介記事

山陰中央新報11月24日 展覧会紹介記事



会場



会場



会場



会場



講演会

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

北斎と永田コレクションに関するガイドブック：B5、全16ページ
(デザイン：以上すべて野村デザイン制作室)

関連事業

永田生慈氏が語った「北斎」—永田コレクションの概要紹介をあわせて

過去に島根県立美術館で開催された故永田生慈氏の講演会映像(約90分)を、精細な画像と共に上映した。上映後は、所蔵館の担当学芸員が永田コレクションの概要や、島根県への寄贈経緯等について紹介した。

講師：大森 拓土(島根県立美術館 専門学芸員)

日時：9月27日(日)14:00～16:00

会場：講義室

参加者：20名

Museum×Theater：ミュージア vol.14

「大駱駝艦 HOKUSAI×BUTOH “北斎とをどる”」

振付・演出・出演：村松 卓矢(大駱駝艦)

出演(大駱駝艦)：松田 篤史、高桑 晶子、荒井 啓汰、谷口 美咲子

日時：10月31日(土) 開場18:30 / 開演19:00(終演19:30頃)

会場：グラントワ 中庭広場

※詳細は23頁「ミュージア」に記載

美術館無料開放

島根県芸術文化センター長・澄川喜一の文化勲章受賞を記念し、美術館の無料開放を行った。

日時：11月3日(火)

入館者：725名

企画展 生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜

会 期：令和2年12月25日(金)～令和3年2月20日(土)

前期：12月25日(金)～1月25日(月)／後期：1月27日(水)～2月20日(土)

休 館 日：毎週火曜日、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビ

協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン

特別協力：郡山市立美術館、千葉県立美術館、東京藝術大学大学美術館、東京国立近代美術館、府中市美術館、丸山晚霞記念館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

明治期を代表する水彩画家・大下藤次郎(1870-1911)の生涯と画業を、生誕150年にあたる2020年に改めてふり返った展覧会。大下の著作「三脚物語」の主人公・三脚が主人(大下)と周囲の人々について語るという構成にし、水彩画の普及に人生を捧げた大下が、その著書や講習会などを通じて伝えようとした水彩画表現の魅力に迫るとともに、水彩画を愛した仲間達の作品も一堂に紹介した。出品作のなかには、大下の希少な初期の油彩画など、初公開の作品も含まれた。

出品作家は、大下のほかに、原田直次郎、中丸精十郎、三宅克己、丸山晚霞、石井柏亭、吉田博、吉田ふじを、小杉未醒、アルフレッド・ウィリアム・パーソンズなど、明治期を代表する洋画家や水彩画家達の名品を展示した。企画当初は会期を令和2年の夏としており、群馬県立館林美術館とともに準備を進めてきたが、コロナ禍の影響で当館の会期が冬に延期となった。また、開幕後にも首都圏で緊急事態宣言が発令され、イベントの中止などが相次ぎ、会期中その影響を大きく受けた。

新聞掲載

週刊さんいん学聞11月25日 展覧会紹介記事

読売新聞12月25日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月25日 展覧会紹介記事

毎日新聞2021年1月6日 展覧会紹介記事

中国新聞1月7日 展覧会紹介記事

読売新聞1月13日 左近充 直美 寄稿

読売新聞1月14日 左近充 直美 寄稿

読売新聞1月16日 記念講演会紹介記事

読売新聞2月3日 左近充 直美 寄稿

読売新聞2月4日 左近充 直美 寄稿

読売新聞2月12日 ワークショップ取材記事

印 刷 物

先行告知ツール(ウェットティッシュ)

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り

子どものための鑑賞ガイド：21cm角 三つ折り

展覧会図録：22cm角 全116ページ

イベント告知DM：葉書サイズ

(デザイン：以上すべて野村デザイン制作室)



会場

関連事業

記念講演会「山を描いた水彩画家たち-大下藤次郎を中心に」

大下藤次郎ほか、同時代の水彩画家たちの心を捉えた、山の風景について、作品の魅力をお話いただいた。

講師：斎藤 郁夫(山口県立美術館学芸参与)

日時：1月16日(土)14:00～15:30

会場：講義室

鑑賞者：15名

ワークショップ「水彩画を描いてみよう」

大下藤次郎の著書『水彩画之栞』に出てくる空や雲、草花の描き方など、ちょっとしたコツを学びながら楽しく水彩画を描いてみるワークショップ。幅広い年齢層の方が参加した。

講師：上野 小麻里(島根県立美術館専門学芸員)、左近充 直美(当館担当学芸員)

日時：2月11日(木・祝)14:00～16:00

会場：講義室

参加者：13名

2月に予定していた記念講演会「修復のはなし」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。



会場



会場



記念講演会



内覧会

企画展 ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会

会 期：令和2年3月20日(土・祝)～令和3年5月16日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般/1,200(950)円

大学生/600(450)円

小中高生/300(250)円

前売券 一般/1,000円、大学生/500円、小中学生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、国立新美術館、読売新聞社、しまね文化振興財団、日本海テレビ、山陰中央新報社、中国新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援：芸術文化とふれあう協議会、NHK 松江放送局

協 力：七彩

内 容

1970年代以降、日本の装いの文化は、その独自の展開から世界からも注目されてきた。本展では、戦後から現在に至るまでの日本のファッションを、衣服やアイデアを創造するデザイナー(発信者)と、衣服を身につけ、時代のムーブメントを生み出すこともあった消費者(受容者)サイドの双方向から検証。衣服、写真雑誌、映像といった豊富な資料を通して、各時代のファッションと社会のありようを紐解いた。

本展は、当館と国立新美術館との共同企画であるが、当館では石見出身のファッションデザイナー森英恵の衣装を東京会場より多く展示した。また、当会場限定で、特別展示「コズミックワンダーと工藝ばんくす舎 ノノ かみと布の原郷」を開催した。

展覧会では、展示内容を分かりやすく解説したガイドブック(和文と英文で作成)を国立新美術館と共同で作成し、当館の立地する益田市他、近隣の小中学校に全生徒分配布した。

なお本展は、開館15周年記念展として、令和2年9月開幕の予定(共催者の国立新美術館は同年6月)で準備を進めていたが、コロナ禍により延期となった。

新聞掲載

令和2年

読売新聞2月27日 記者発表会記事

読売新聞3月15日 展覧会紹介記事

中国新聞3月18日 展覧会紹介記事

中国新聞9月13日 展覧会開幕延期記事

令和3年

山陰中央新報2月28日 展覧会紹介記事

公明新聞3月10日 本橋 弥生(国立新美術館主任研究員) 寄稿

山陰中央新報3月20日 展覧会紹介記事

山陰中央新報3月20日 南目 美輝 寄稿

読売新聞3月20日 展覧会紹介記事

中国新聞3月20日 展覧会紹介記事

山陰中央新報3月21日 南目 美輝 寄稿

読売新聞3月21日 展覧会紹介記事

山陰中央新報3月22日 南目 美輝 寄稿

読売新聞3月25日 南目 美輝 寄稿

毎日新聞3月31日 展覧会紹介記事

※以降は令和3年度年報に記載する



会場



会場



会場



会場

印刷物

先行告知ツール(割引券付しおり) 7種

展覧会ポスター: B2

展覧会チラシ: A3二つ折

子どものための鑑賞ガイド: 縦210×横111.4mm 蛇腹 7ツ折
(デザイン: 以上すべてLABORATORIES)

展覧会図録: 青幻舎発行

関連事業

ドレスコードでプレゼント

会期中の土日祝日に赤色または白色のものを身につけてきた方、先着20名に赤いエコバッグをプレゼントした。

参加者: 346名

ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 コズミックワンダーと工藝ぱんくす舎 ノノ かみと布の原郷



チ ラ シ



会 場



会 場



会 場

展覧会名：ファッション イン ジャパン展 島根会場特別展示 コズミックワンダーと工藝ぱんくす舎 ノノ かみと布の原郷

会 期：令和2年3月20日(土・祝)～令和3年5月16日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般/1,200(950)円

大学生/600(450)円

小中高生/300(250)円

前売券 一般/1,000円、大学生/500円、小中学生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料

* 企画展「ファッション イン ジャパン」のチケットで観覧可能

主 催：島根県立石見美術館、国立新美術館、読売新聞社、しまね文化振興財団、日本海テレビ、山陰中央新報社、中国新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援：芸術文化とふれあう協議会、NHK 松江放送局

内 容

本展は、紙と水を手がかりに日本人の自然観・宇宙観を再考するプロジェクトを手がけてきた「コズミックワンダーと工藝ぱんくす舎」を招聘し、開催する「ファッション イン ジャパン」展の島根会場特別企画。消費社会が成立する以前のこの国の衣服に注目する内容。江戸中期に木綿が普及する以前、一般の人々が暮らしの糧とした藤や楮、大麻、苧麻、オヒョウ、芭蕉などといった樹皮繊維を原料とする手漉き和紙や「自然布」に注目し、紙と布から日本各地の特性や人々の暮らし、精神性を見つめた。文献調査、フィールドワークを通して考察を重ね、その成果を衣服や工芸品として新たに形にし、着想源とした文化財(古器や布)と併せて展示した。また、新作は「ノノ お水え」として披露し、その世界観を総合的に示した。

自然環境が大きな変動を続けている今、自然と人間との関係、人の生き方を根幹で支える精神を見つめる機会となることを期待した。

新聞掲載

令和2年

中国新聞6月29日 「藤布」情報提供呼びかけ記事

読売新聞6月30日 「藤布」情報提供呼びかけ記事

毎日新聞7月2日 「藤布」調査取材記事

山陰中央新報7月8日 「藤布」調査取材記事

読売新聞10月8日 藤布調査取材記事

令和3年

山陰中央新報2月28日 展覧会紹介記事

山陰中央新報3月23日 廣田 理紗 寄稿

『地域創造レター』4月号3月25日 展覧会紹介記事

毎日新聞3月31日 展覧会紹介記事

※以降は令和3年度年報に記載する

印 刷 物

展覧会チラシ：A4 孔版印刷(印刷：文林堂)

ハンズアウト、作品リスト：A4、16頁、白黒

(デザイン：すべて吉村麻紀)



会場



会場



「水の会」撮影：長島 有里枝



「水の会」撮影：長島 有里枝

関連事業

オープニング事業「水の会」

「コズミックワンダーと工藝ばんくす舎」による「水の会」。この展覧会のために新たに制作、発表された。彼らの創作と見立てによりしつらえられた空間の中で、紙の音を聞く、素朴な菓子と山の水をささげるなどした。日本各地に残された「自然布」、紙の研究を通し、彼らが感銘を受けた事象、素材、形状を重ねて作られた。また、調査で訪れた場所や出会ったものに宿る気配、アーティスト自身とそれらとの間にある目に見えないつながりなど、精神的な領域で看取された印象も表現された。会の多くの場面がこのために建てられた小屋の中で行われ、外部からはほとんど様子が見えない秘祭のような雰囲気的时间となった。記録映像を撮り、展示室で放映した。

芸術監督：コズミックワンダー、工藝ばんくす舎

出演：前田 征紀、石井 すみ子、新藤 牧人、安田 都乃

日時：3月19日(金)日の刻

会場：かみの宿(島根県益田市)

ノノ小屋：(設計)工藝ばんくす舎、(制作)ジュン・サン、野田 哲夫

衣：コズミックワンダーと工藝ばんくす舎

組織痕土器水鍋・水瓶・水碗：安田 都乃

水椀、柄杓：川合 優

菓子皿：前田 尚謙

菓子「泥晶」：加藤 祐基

記録(写真)：長島 有里枝

記録(映像・デジタル)：加藤 文崇

記録(映像・8mm)：志村 信裕

特別展

展示室C 受贈記念 澄川喜一展

会 期：令和2年9月10日(木)～11月30日(月)

内 容：島根県へ、彫刻家澄川喜一の作品が寄贈されることが決定したことを受け開催。戦後の抽象彫刻のパイオニアとして活躍している澄川の仕事を、寄贈される作品群から厳選して紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	島根県立石見美術館
2	澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カラントス	島根県立石見美術館
3	澄川 喜一	MASK	1985年	樟	島根県立石見美術館
4	澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	島根県立石見美術館
5	澄川 喜一	そりのあるかたち05	2005年	神代櫨、櫨、檜	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	そりのあるかたち06	2006年	神代櫨、櫨、ステンレス	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	木霊	2007年	檜、櫨	島根県立石見美術館
8	澄川 喜一	矢羽根I	2010年	神代櫨、櫨	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	そりのあるかたちA	2011年	櫨	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	TOWER	2012年	櫨	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そりのあるかたち	2018年	杉	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	櫨、カラントス	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』9月号9月20日 南目 美輝 展覧会紹介

新美術新聞9月11日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月11日 展覧会紹介記事

中国新聞9月12日 展覧会紹介記事

毎日新聞9月16日 展覧会紹介記事

中国新聞9月21日 展覧会紹介記事

読売新聞9月28日 展覧会紹介記事

『美術屋 百兵衛』No.54・55号 展覧会紹介記事

読売新聞10月7日 知事展覧会視察記事

朝日新聞10月7日 知事展覧会視察記事

中国新聞10月9日 知事展覧会視察記事

中国新聞10月28日 文化勲章受章記念無料開放記事

展示室C 特別展 文化勲章受章記念 澄川喜一展

会 期：令和2年12月3日(木)～令和3年2月15日(月)

内 容：島根県出身の彫刻家、澄川喜一(1931年吉賀町生まれ)が文化勲章を受章したことを記念し、同年、島根県に寄贈された作品のなかから、作家のライフワークとなっている「そのあるかたち」シリーズを中心に、1980年代から現代にいたるまでの、選りすぐりの作品を紹介した。また、一部ではあるが、屋外彫刻および環境造形の仕事も写真パネルで展示した。

出品リスト

	作者名	作品名	所在地(パネルのみ表記)	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	瀧		2005年	杉、樺	島根県立石見美術館
2	澄川 喜一	そのあるかたち		2019年	樺	島根県立石見美術館
3	澄川 喜一	そのあるかたちN		2008年	栗、樺、槐	島根県立石見美術館
4	澄川 喜一	そのあるかたち		2019年	樟	島根県立石見美術館
5	澄川 喜一	そいとそぎのあるかたち83		1983年	樺、松	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	そのあるかたち 97- 3		1997年	樺、一位、ステンレス	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そのあるかたち99		1999年	樺	島根県立石見美術館
8	澄川 喜一	そのあるかたち-D		1987年	樺、松、鉄板	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	そのあるかたち01- 1		2001年	樺、チーク、松、鉄板	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	そのあるかたち2009		2009年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そのあるかたち		2019年	槐、樺、神代樺	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そのあるかたち		2018年	杉	島根県立石見美術館
各地の野外彫刻及び環境造形(一部)パネル						
13	澄川 喜一	TO THE SKY	東京都新宿区 新宿モノリスビル	1990年	銅板、塗装	
14	澄川 喜一	東京湾アクアライン川崎人工島浮島「風の塔」	東京都	1997年	鉄骨、セラミック	
15	澄川 喜一	TO THE SKY	東京スカイツリータウン®内「ソラマチひろば」	2012年	御影石	
16	澄川 喜一	光庭	東京都 三井住友海上火災保険株式会社	1989年	万成石、ステンレス	
17	澄川 喜一	TO THE SKY	島根県益田市 萩・石見空港	1993年	御影石	
18	澄川 喜一	TO THE SKY&MOON	山口県岩国市 山口県民文化ホールいわくに「シンフォニア岩国」	1996年	御影石	
19	澄川 喜一	朝倉文夫記念館 庭園造形	大分県豊後大野市 朝倉文夫記念館	1990年	御影石、自然石	

印刷物

展覧会チラシ：A5(デザイン：野村デザイン制作室)

展覧会ポスター：B2(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

2月に建築家・内藤廣氏との対談を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

新聞掲載

山陰中央新報12月4日 展覧会紹介記事

中国新聞12月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月16日 展覧会紹介記事

毎日新聞12月17日 展覧会紹介記事



チラシ

展示室A 静と動

会 期：令和2年3月18日(水)～6月22日(月)

内 容：「静けさ」を感じさせる表現と「動き」を感じさせる表現を、比較しながら紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	静物	大正9(1920)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25(1950)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	香月 泰男	鯉と犬	昭和25(1950)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	和田 英作	海神	大正7(1918)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25(1950)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	水上の祭り	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	和田 英作	風景	大正3(1914)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	鹿子木 孟朗	加茂の森	大正12(1923)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	山崎 修二	少女像	昭和6(1931)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山崎 修二	髪	昭和14(1939)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸時代初め 16世紀後半～17世紀初め	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
12	曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期 16世紀	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
13	円山 応挙	柿本人麿像	江戸時代中期 明和2(1765)年頃	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
14	啓孫	騎驢人物図	室町時代後期 16世紀	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
15	山田 道安	芦雁図	室町時代後期～桃山時代初期 16世紀	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
16	山本 琴谷	年中行事図屏風	万延元(1860)年	紙本墨画、六曲一双	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞4月19日 展覧会紹介記事

中国新聞5月11日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月15日 展覧会紹介記事

展示室A 異国へのあこがれ

会 期：令和2年6月24日(水)～7月27日(月)

内 容：画家たちの「異国へのあこがれ」や好奇心に注目し、室町時代の中国の故事を主題としたから水墨画、明治期に油彩画を学び始めた日本人画家の作例、また西洋美術の領域から、20世紀初頭にヨーロッパで流行した中国趣味の作品などを展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	周憲	達磨図	室町時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
2	近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
3	山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年頃	絹本著色	島根県立石見美術館
5	中林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画	島根県立石見美術館
6	岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓	1848年	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
7	黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治初期	絹本著色	島根県立石見美術館
11	ジョルジュ・ルバップ	どっちにしよう? ポール・ボワレのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ベルナルド・ブーテド・モンヴェル	漆の箆筒 ウォルトのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・バルビエ	赤屏風 ウォルトのイブニング・ドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 変更	1921年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ジョルジュ・バルビエ	ベネチアンレッド ウォルトのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・バルビエ	煙 ベールのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・バルビエ	ロザリンド ウォルトのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	ジョルジュ・バルビエ	画面の美しい女性 ドゥーセのドレスとコート『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	ジョルジュ・バルビエ	素晴らしい人 ウォルトのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19	ジョルジュ・バルビエ	堂々たる人 ウォルトのイブニング・ドレスとコート『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
20	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「中国の中庭」	1918年頃	オレンジ色のシルク、ダマスク織り	島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「漢字(表意文字)」	1921年	シルクにプリント ポール・ボワレのためのデザイン	島根県立石見美術館

新聞掲載

読売新聞7月5日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月9日 展覧会紹介記事

展示室A 人物画の魅力

会 期：令和2年7月29日(水)～9月20日(日)

内 容：当館コレクション作品のなかから、素描、版画、洋画、日本画に描かれた人物画の魅力を紹介。ポスターなどに描かれた女性たち、そして理想美を形にしたような女性像など、時代を照らす女性の描かれ方に注目するとともに、性格や年齢などが表現の前面に出された、ムードある個性豊かな男性像にも注目した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	内藤夫人の像	大正8(1919)年	木炭、パステル、紙	島根県立石見美術館
2	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8(1919)年	木版、紙	島根県立石見美術館
3	有元 利夫	1983年展覧会ポスター	昭和58(1983)年	銅版、紙	島根県立石見美術館
4	アンリ・ド・トゥルーズ =ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
5	ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のための ポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
6	テオフィル=アレクサン ドル・スタンラン	オートバイ・コムイ	1899年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
7	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤島 武二	西洋婦人像	明治41(1908)年～ 明治42(1909)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	岡田 三郎助	黒き帯	大正4(1915)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山崎 修二	二人の少女	昭和6(1931)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7(1932)年	絹本着色	島根県立石見美術館
12	須田 国太郎	素描 将棋の図1	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
13	須田 国太郎	素描 将棋の図2	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
14	原田 直次郎	男児肖像	明治20(1887)年～ 明治31(1898)年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	小堀 四郎	ブルターニュの男	昭和5(1930)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	自画像	大正9(1920)年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	中村 不折	裸体	明治36(1903)年～ 明治38(1905)年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	畦地 梅太郎	園谷の残雪	昭和42(1967)年	木版、紙	島根県立石見美術館
19	畦地 梅太郎	火の山	昭和48(1973)年	木版、紙	島根県立石見美術館
20	畦地 梅太郎	ささやき	昭和53(1978)年	木版、紙	島根県立石見美術館
21	畦地 梅太郎	鳥と山男	昭和58(1983)年	木版、紙	島根県立石見美術館

展示室A 雪舟を受け継ぐ

会 期：令和2年11月27日(金)～12月19日(土)

内 容：雪舟の生誕600年を記念し、雪舟の画風を受け継ぐ水墨画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本墨画淡彩、六曲一隻	島根県立石見美術館
2	雲谷派	四季山水図屏風	桃山時代～江戸時代前期	紙本墨画淡彩、八曲一双	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	寛永(1624～45)中期頃	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
4	等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩、軸、一幅	島根県立石見美術館
5	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
7	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	紙本墨画淡彩、軸、三幅対	島根県立石見美術館
8	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館
9	狩野伊仙院栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	紙本墨画、軸、一幅	島根県立石見美術館

展示室B 機械とファッション

会 期：令和2年3月18日(木)～6月22日(月)

内 容：産業革命以降、人々は鉄道や客船、自動車などを用いて移動し、また生産業も機械化が進んで大量生産、体制が徐々に整った。そうした中で人々の衣服やインテリアもまた、新しい乗り物にそぐうもの、直線的で機能的なデザインのものなどが登場する。本展では1010-30年頃の収蔵品から、機械とファッションの影響関係を見つめた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン ラグランスリーブ 丸襟 貝のボタン	島根県立石見美術館
2	エルネスト・タヤート	《「モデル」の時間 ヴィオネの店で》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	エルネスト・タヤート	《たばこ ヴィオネのドレス》『ガゼット・ デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	エルネスト・タヤート	《ローマの復活祭の土産 ヴィオネの 午後のドレス》『ガゼット・デュ・ボン・ トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	エルネスト・タヤート	《パリでの仮縫い 飛行機旅行のため のヴィオネのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・ トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	エルネスト・タヤート	《ヴィオネのコート》『ガゼット・デュ・ボン・ トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	エルネスト・タヤート	《ヴィオネのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・ トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	エルネスト・タヤート	《ヴィオネの夜のドレス》『ガゼット・デュ・ ボン・トン』より	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	エルネスト・タヤート	《ヴィオネのケープ》『ガゼット・デュ・ボン・ トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	エルネスト・タヤート	《ゴルフのために ヴィオネのゴルフウェア》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	エルネスト・タヤート	《劇場にて ヴィオネのミンクのコート》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』9. ディスクのスカーフ	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』5. 帽子とマフラーのデザイン	1922～23年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレ ス バイアスカット 黒の絹のス リッパ	島根県立石見美術館
15	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ド レス ボートネック ラグランス リーブ プリーツスカート	島根県立石見美術館
16	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ ドレス バイアス・カット	島根県立石見美術館
17	ナゼレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン 画 6-21		水彩、紙	島根県立石見美術館
18	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン 画 6-20		水彩、紙	島根県立石見美術館
19	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン 画 6-26		水彩、紙	島根県立石見美術館
20	マリア・アノーフリ エバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン 画 6-19		水彩、紙	島根県立石見美術館
21	マリア・アノーフリ エバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン 画 6-9		水彩、紙	島根県立石見美術館
22		『アール・ゲー・ポータ』No.22 1922年8月号	1922年	紙	島根県立石見美術館
23		『フェミナ』1923年1月号	1923年	紙	島根県立石見美術館
24		『フェミナ』1926年7月号	1926年	紙	島根県立石見美術館
25		『フェミナ』1929年3月号	1929年	紙	島根県立石見美術館
26		『フェミナ』1929年6月号	1929年	紙	島根県立石見美術館
27		『アール・ゲー・ポータ』No.121 1930年9月号	1930年	紙	島根県立石見美術館

展示室B ロシア・アヴァンギャルド

会 期：令和2年6月24日(水)～7月27日(月)

内 容：当館所蔵のロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画とテキスタイルを紹介した。所蔵品はロシアのテキスタイルデザイン史において、最も重要な時期とされる1920年代後半から1930年代前半にかけて制作されたものであり、国内では極めて稀少なコレクションをまとめてみることができる貴重な機会となった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-1 ～8		水彩、紙	島根県立石見美術館
2	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-16		水彩、紙	島根県立石見美術館
3	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-15		水彩、紙	島根県立石見美術館
4	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-10		水彩、紙	島根県立石見美術館
5	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-13		水彩、紙	島根県立石見美術館
6	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-22		水彩、紙	島根県立石見美術館
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-35	1930年9月	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-34	1929年12月	水彩、紙	島根県立石見美術館
9		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-8	1930年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-4	1930年1月	水彩、紙	島根県立石見美術館
11		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-5	1930年1月	水彩、紙	島根県立石見美術館
12		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-9	1930年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-4 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-2		水彩、紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-6 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-3	1929年	水彩、紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-7 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-8	1929年9月	水彩、紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-13	1927年	水彩、紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-15	1927年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-22	1927年	水彩、紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-26	1928年8月	水彩、紙	島根県立石見美術館
20		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-1	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
21	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
22		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
23	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
24	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
25		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-8		綿、プリント	島根県立石見美術館
26	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 8-1	1929～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

展示室C キカガク×アート

会 期：令和2年3月27日(金)～7月13日(月)

内 容：幾何学的な形をモチーフとしたテキスタイルデザイン、および現代アートを展示。当初は5月25日まで開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月11日から臨時休館となったため一時閉室し、6月1日から再開、新しい会期を7月13日までとした。クラウドファンディングにより令和元年度に寄贈された野村康生《Noctis Labyrinthus（夜の迷宮）》のお披露目展示としていたが途中休止となったため、急遽アーティストがリモート参加するオンラインギャラリートークを開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「モザイク・デザイン」	1923年頃	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「四角の中のとうもろこし、マーガレット、ケシの花」	1912～28年	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「幾何学的な花」	1912～28年	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「真珠とロゼット」	1912～28年	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「花とアラベスク模様」	1912～28年	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
6	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』3 トリストラン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』11 トリストラン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』15	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』16	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』20 5人の女性	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
11	堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺、カラントス	島根県立石見美術館
13	澄川 喜一	そりのあるかたち F	2012年	樺、桂	島根県立石見美術館
14	岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニア、 角材	島根県立石見美術館
15	岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニア、 角材	島根県立石見美術館
16	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
17	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
18	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
19	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	作家蔵(寄託作品)
20	野村 康生	Noctis Labyrinthus (夜の迷宮)	2017年	アクリル、シリコーン、 マーカー、グリッター、 ウレタン、パネル 3点	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞6月18日 展覧会紹介記事

関連事業

「益田とニューヨークをつなぐ! グラントワ・オンライン・アーティストトーク」

益田市出身でニューヨーク在住のアーティスト、野村康生のスタジオと展示室をオンラインでつなぎ、作家と学芸員によるギャラリートークを開催。YouTubeでライブ中継した。

日 時：令和2年5月4日(月)20:00～21:00

展示室C 森村泰昌「女優シリーズ」

会 期：令和2年7月17日(金)～9月7日(月)

内 容：森村泰昌が古今東西の女優に扮したセルフポートレート「女優シリーズ」より21点を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
2	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／白いマリリン	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
3	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・4	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
4	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
5	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
6	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ハラ・セツコとしての私	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
7	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・2	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
8	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
9	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
10	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
11	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／デートリッヒとしての私・2	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
12	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／シルビア・クリステルとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
13	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ガルボとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
14	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／フェイ・ダナウェイとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
15	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バーグマンとしての私・1	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
16	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジェーン・フォンダとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
17	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／デートリッヒとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
18	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・2	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
19	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私・2	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
20	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／イワシタ・シマとしての私	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
21	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・3	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞7月30日 展覧会紹介記事

第53回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：令和2年12月3日(木)～12月6日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第53回島根県高校美術展

会 期：令和2年12月11日(金)～12月14日(月)

会 場：展示室D

主 催：島根県高等学校文化連盟

全島根小中学校図画作品展益田展

会 期：令和3年2月26日(金)～2月28日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県造形教育研究会

第39回 益田市美術展

会 期：令和3年3月4日(木)～3月7日(日)

会 場：展示室D

主 催：益田市美術展実行委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



チラシ



パフォーマンス



パフォーマンス

ミュージア

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater:ミュージア」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

令和2年度の事業としては、中止となったものも含め以下の2つを企画した。

Museum×Theater:ミュージアvol.13

コンサート「夢二の見た夢、その淡い」

企画展「竹久夢二と乙女たち」の関連プログラムとして企画。展示予定の「セノオ楽譜」や「中山晋平作曲集」の楽曲や、夢二の詩に寄せて作曲家・平野一郎が書き下した委嘱曲の初演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画展が中止となったことを受け、コンサートも中止となった。

日 時：5月31日(日)14:00～16:00【中止】

会 場：グラントワ 多目的ギャラリー

出 演：吉川 真澄(ソプラノ)、水戸 見祐子(ピアノ)

Museum×Theater:ミュージアvol.14

「北斎とをどる」

企画展「北斎 永田コレクション名品展」の関連プログラムとして実施。舞踏カンパニー「大駱駝艦」が、北斎の作品をテーマとしたオリジナルパフォーマンスを夜の中庭で披露。プロジェクトマッピングや篝火の演出による、幻想的なステージが観客を魅了した。

振付・演出：村松 卓矢

出 演：大駱駝艦(村松 卓矢、松田 篤史、高桑 昌子、荒井 啓汰、谷口 美咲子)

日 時：令和2年10月31日(土)19:00～19:30

会 場：中庭広場

参加者：92名

新聞掲載

山陰中央新報11月25日 関連プログラム取材記事

【講座・講演など】

美術館連携授業「森 英恵-仕事とスタイル」

日 時：令和2年8月31日(月)

講 師：廣田 理紗

会 場：吉賀町立六日市中学校

参加者：中学2年生14名

武庫川女子大学生生活美学研究所

令和2年度第2回定期研究会「ファッションと展示の場」

日 時：令和2年1月23日(土)14:00～16:00

講 師：南目 美輝、廣田 理紗、石関 亮(京都服飾文化研究財団キュレーター)、

小形 道正(同アソシエイト・キュレーター)

コーディネーター：井上 雅人(武庫川女子大学生生活環境学部 准教授、同大学生生活美学研究所研究員)

オンラインによる開催

視聴者数：57名

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講義：「石見美術館の概要とファッションコレクション」

日 時：令和2年10月2日(金)14:50～16:20

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 鑑賞：「北斎 永田コレクション名品展」

日 時：令和2年10月9日(金)14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室D、A

第3回 講義：「造形とはなにか」

日 時：令和2年10月30日(金)14:50～16:20

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見高等看護学院

第4回 講義：「美術館と地域」

日 時：令和2年11月6日(金)14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 鑑賞：「雪舟を受け継ぐ」と講義：「石見の美術」

日 時：令和2年12月4日(金)14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室A、講義室

第6回 講義：「石見の仏像」

日 時：令和2年12月11日(金)14:50～16:20

講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)

会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 演習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：令和2年12月6日(金)13:10～15:35(休憩含)

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 講義室

【動画制作】

令和2年度は、全国の美術館が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業の休止や延期を余儀なくされた。一方、インターネットを活用した活動が一躍注目を集め、各館が様々なコンテンツを制作する契機にもなった。グラントワ内でもその機運が高まり、令和2年度には3つのシリーズ動画の制作を実施し、YouTube 上のチャンネル「grandtoit」で公開している。

映像制作：益田工房

音 楽：相川 瞳

協 力：内藤廣建築設計事務所(①のみ)

①グラントワ建築案内(全5回)

タイトル：第1回「美術館の魅力」、第2回「ホールの魅力」、第3回「中庭・回廊の心地よさ」、第4回「色と光、街との調和」、第5回「建物への想い」

内 容：グラントワで働く職員からの質問に設計者である内藤廣氏が答える形で、建築の見どころを紹介。ドローンも駆使して建築の様々な場所を撮影した。

②石見美術館所蔵品紹介(全6回)

タイトル：第1回「狩野松栄《益田元祥像》」、第2回「澄川喜一、自作を語る」、第3回「大下藤次郎の風景画」、第4回「榎本千花俊のモダンガール」、第5回「ポール・ボワレのドレス」、第6回「森英恵『日本の美』を世界へ」

内 容：石見美術館の5人の学芸員が、それぞれおすすめのと蔵作品や作家を紹介する動画。ちょうど澄川喜一センター長の文化勲章受章の時期にあたったため、特別版として澄川センター長が展示中の自作を語る回も制作した。

③MUSEUM×THEATER：MUTHEA「ミュージア」紹介(全4回)

タイトル：第1回「グラントワならではのコラボ企画『MUSEUM×THEATER ミュージア』」、第2回「身体表現の《今》を感じるコラボレーション舞台『石見神楽×ダンス』」、第3回「食と芸能で味わう地域の歴史『よみがえる戦国の宴』」、第4回「世界一贅沢な美術鑑賞!『名画をいどころ話芸と音楽』」

内 容：美術館と劇場の複合施設ならではの、両者のコラボ事業のあゆみを紹介。出演者や地域の協力者のインタビューもまじえて、制作の過程や、その魅力について振り返った。

新聞・雑誌への寄稿

令和2年度 朝日新聞『石見美術館収蔵から 美ありて』連載

4月17日	南目 美輝	アンドレ・クレージュ《デイ・ドレス》
6月 5日	川西 由里	山田喜作《真夏の港》
7月 3日	廣田 理紗	ポール・ボフレ《デイ・ドレス》
8月14日	角野 広海	等碩《牧童図》
9月18日	左近充 直美	伝大下藤次郎《伝大下巳之吉肖像》
10月23日	南目 美輝	ピエール・ボナール《「ラ・ルビュ・ブランシュ」誌のためのポスター》
11月20日	川西 由里	竹久夢二「婦人グラフ」表紙
12月18日	廣田 理紗	森英恵《菊のバジャマ・ドレス》
2月 5日	角野 広海	山本琴谷《瀧見観音図》

その他寄稿

6月14日	毎日新聞	川西 由里	「今よみがえる森鷗外 美術界に残した足跡」
10月14日	山陰中央新報	廣田 理紗	「銀幕が育んだエレガンス 映画に見る森英恵の世界」1
10月21日	山陰中央新報	廣田 理紗	「銀幕が育んだエレガンス 映画に見る森英恵の世界」2
10月28日	山陰中央新報	廣田 理紗	「銀幕が育んだエレガンス 映画に見る森英恵の世界」3
11月 4日	山陰中央新報	廣田 理紗	「銀幕が育んだエレガンス 映画に見る森英恵の世界」4
11月11日	山陰中央新報	廣田 理紗	「銀幕が育んだエレガンス 映画に見る森英恵の世界」5

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動なし

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動なし

各種割引

島根県立石見美術館 入館料・割引サービス一覧

※2020年8月20日現在

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携館

いわみ美術回廊 加盟館

浜田市立石正美術館	左記施設の 会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
浜田市世界こども美術館		観覧券の半券	
益田市立雪舟の郷記念館			
津和野町立安野光雅美術館			
今井美術館			

山口県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
山口県立萩美術館・浦上記念館		<small>※2021年4月1日以降は会員証のみ</small>	
サントリー美術館	左記施設の 会員様	会員証	
DIC川村記念美術館			
植田正治写真美術館			
足立美術館			
尾道市立美術館			
ひろしま美術館			
広島県立美術館			
広島市現代美術館			
愛媛県美術館			
島根県立美術館			
島根県立古代出雲歴史博物館	ご利用者様	会員証 または 割引券	

劇場連携

グラントワ(いわみ芸術劇場)	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット をお持ちの方	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット <small>※公演当日のみ有効</small>	団体割引 (ご本人のみ)
----------------	---	---	------------------------

外国人割引

外国人の方	外国人の方	パスポート(旅券) または 在留カード	企画展・コレクションセット券 一般 650円/大学生 400円 小中高生 150円 企画展のみ 一般 500円/大学生 300円 小中高生 無料
-------	--------------	---	---

★ご提示いただく「会員証」は、有効期限内のものに限ります。

石見美術館の入館料が割引となります。

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携カード／クーポン／パスポート／その他

しまねカード	左記の カード をお持ちの方	カード または WEB画面	団体割引 (人数制限なし)	
しまね子育て応援パスポート COCCOLO		カード	団体割引 (4名様まで)	
ゆめカード				
SDカード				
山陰中央新報さんさんクラブ				
ちゅーピーカード				
やわらぎカード				
萩ファンカード				
E倶楽部(イーカード)				
JAF				カード または WEB画面
ドUBLEカード				カード
Reloclub		カード または WEBクーポン	団体割引 (5名様まで)	
エルフル	カード または WEB画面	団体割引 (4名様まで)		
石見ぶらり手形	左記の クーポン または パスポート または チケット など をお持ちの方	入場クーポン	企画展・コレクションセット券 500円 <small>※1</small>	
じゃらん		割引クーポン	団体割引 (4名様まで)	
雪舟さんパスポート		パスポート	団体割引 (ご本人のみ)	
ぶらり中国ドライブパス		申込完了メール(印刷またはWEB画面)	団体割引 (5名様まで)	
おいでませパスポート		パスポート	団体割引 (4名様まで)	
だんだんチケット		無料招待券 <small>※2</small>	入館無料 (<small>無料招待券</small> 1枚につき1名様)	
ミュージアムガイド(書籍)	左記 書籍 をお持ちの方	ミュージアムガイド(書籍)	団体割引 (4名様まで)	
美術検定1級アートナビゲーター	左記 資格 をお持ちの方	認定証	団体割引 (2名様まで)	

乗車券・航空券

※1 大学生・小中高生無料／コレクション展は対象外です。
※2 だんだんチケットに印刷されています。

高速バス 益田⇄大阪／広島	左記の 交通機関 または サービスを ご利用 の方	往復乗車券	団体割引 (ご本人のみ)
JR益田駅⇄島根県東部(大田市以東)		DWパスポート	
DWパスポート(JR西日本)		1日乗車券	
雪舟ライン		航空券 <small>※3</small>	
萩・石見空港発着便			

※3 往復・片道のいずれの航空券でも可。

提携館にてグラントワ会員証（共通カードまたはミュージアムパスポート）、石見美術館観覧券（半券）をご提示いただくと、提携館の入館料が割引となります。

提携館名	割引対象	
	グラントワ共通カード ミュージアムパスポート	石見美術館観覧券（半券）
いわみ美術回廊 加盟館		
浜田市世界こども美術館	※当面の間割引休止	
津和野町立安野光雅美術館		
浜田市立石正美術館	○	○
益田市立雪舟の郷記念館	○ （会員ご本人のみ）	○
今井美術館		
山口県立美術館		○ （開催中のもの）
山口県立萩美術館・浦上記念館	○	※2021年4月1日以降はご利用いただけません。
島根県立美術館	○ （会員ご本人のみ）	
サントリー美術館		
DIC川村記念美術館	※当面の間割引休止	
植田正治写真美術館		
足立美術館		
島根県立古代出雲歴史博物館		—
尾道市立美術館		
ひろしま美術館	○ （会員ご本人のみ）	
広島県立美術館		
広島市現代美術館		
愛媛県美術館		

※各施設により割引率や条件等が異なります。詳しくは、それぞれの施設まで直接お問い合わせください。

【いわみ美術回廊】

平成14年4月1日いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館
(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉圃	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～92年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鐔木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	あそび	明治末～大正初期頃	絹本着色 軸	108.2×39.4
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本著色 軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
小林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
小林 竹洞	秋丹鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
小林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～25年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川 派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松浦 舞雪	長夜のすさび	大正末～昭和初期頃	絹本着色 軸	132.6×57.6
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞蹈図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
伝 大下 藤次郎	伝大下巳之吉肖像	制作年不詳	油彩、カンヴァス	47.0×35.0
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	71.5×115.5
喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	111.0×161.0
喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	95.7×144.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	プルトーニョの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
野村 康生	"Noctis Labyrinthus(夜の迷宮)"No.04、No.08、No.09	2017(平成29)年	アクリル、シリコン、マーカー・グリッター、ウレタン・パネル	(各)159.7×98.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911~20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末~20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920~22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版 画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
錢嘸	鳳凰I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻-早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED:1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED:19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED:8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED:42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	祈り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウィーン工房(フレーゲル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン＝エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン＝エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボフレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴェ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボフレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュルドゥイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~97年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巣鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~11年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~11年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~11年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~11年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~11年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~11年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~11年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~11年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~11年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~11年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~11年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~11年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～11年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～11年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～11年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～11年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～11年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～11年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～11年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著「津和野物語」挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
喜多村 知	津和野町雪景色(B)	1946年頃	水彩、紙	33.0×48.0
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～29年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～45年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて① (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	軍艦金剛にて② (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3× 15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③ (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4× 17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～97年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」よりシルバースューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不可思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート ドレスは、帯地と絹サテン
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット シルクサテンのドレス ドレスの背には大きなリボン飾り
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン 絹サテンのベルト
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト付
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット 金色の糸で手編みしたドレス
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント ワンピース・ドレス
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 同柄の絹シフォンのストール
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 ネックにビーズ刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット 黒色ウールのタイトスカート
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス クルーネック、長袖のボディーコンシャスでシンプルなフォルム 裾にスリット 左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ 腰に濃紺のブレードでベルト飾り
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り ストール付き 同素材のタイトスカート
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン 同素材でできたベア・トップのロングドレス
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス 胸元に桜色のコサージュ飾り付き
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート 同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュ地にりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス マーメイドライン、ノースリーブ スパングルによる刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ブリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にブリーツ飾り 飾りピン付き 白いウールのアコーディオンブリーツのスカート
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル 緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート 襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カクテルドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス 胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ
森 英恵	カクテルドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス 同柄のパラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ
森 英恵	イブニングドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス 腰にモザイク状のベルト飾り
森 英恵	イブニングドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス 裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のジャケットとスカート
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	紺のウールのジャケットとスカート ベルト付き
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	黒のウールのジャケットとスカート
アズディン・アラリア	コート	1980年代	黒のウールのコート
アズディン・アラリア	ジャケット	1980年代	黒のレザーのバイカージャケット
アズディン・アラリア	デイドレス	1980年代	黒のレザードレス
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のスーツ
アズディン・アラリア	デイドレス	1980年代	ダークデニムのジップアップスカート
アズディン・アラリア	ドレス	1980年代	ディープ V フードレープバックレスガウン
アズディン・アラリア	ジャケット	1980年代	ブラウンのレザー・ジャケット
アズディン・アラリア	ドレス	1980年代	生成りのシャツ・ドレス バックレス
アズディン・アラリア	デイ・スーツ	1980年代	グレーのウールのスーツ
アリックス・グレ	イブニングドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス 裏地はクリーム色の絹
アンドレ・クレージュ	デイドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピース・ドレス、絹サテン地でバイピング
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール マンダリンカラー 茶革のトリミング、折り返しのあるカフス
アンドレ・クレージュ	イブニングドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～70年	フェイクのエナメル(ビニール製) 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーン ミニスカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)
イヴ・サンローラン	カクテルドレス、ケープ	1967～68年	カクテルドレスとケープのアンサンブル ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍 スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー
イヴ・サンローラン	ディナードレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地 Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニングドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材 共布のショール付き
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニングドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス 皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのないパンツ チェックの綿のシャツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ
エミリオ・プッチ	デイドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス スカラップ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス サブリナ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス ラウンド・ネック 長袖
エルザ・スカパレリ	イブニングドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス ショッキングピンクのアンダードレス
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様 ホルターネックブラ
エルザ・スカパレリ	イブニングドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク 衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク) 肩にプラスチック・ジップ
エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスバンデックス ボーン入り
ガブリエル・シャネル	ドレス、カーディガン	1920年代	ピンクベージュと黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたノースリーブドレス 黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたカーディガン 襟ぐりから前見ごろ 裾と袖口にシルバーのビーズでバイピング
ガブリエル・シャネル	イブニングドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス サテン地のリボン
ガブリエル・シャネル	イブニングドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス バイアスカット 黒の絹のスリッパ

作家名	作品名	制作年	材質
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス 襟元にポー飾り 背面にバスル風形状の飾り 共布のストールと靴
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラー ジャケットに飾りポケット 巻きスカート
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス 裏地はピンクの絹オガンザ 内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット 巻きスカート、シース型のアンダースカート付
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地 大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ 後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り 両脇にポケット 背中中央にボックスプリーツ 裏地はグレーの絹
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ ウエストにベルト
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグラン・スリーブ 幅広の帯風のベルト ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター スカートにはチュール地の3段のベチコート
クリスチャン・ディオール / マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹 裏地は青の絹オガンザ 七分丈スリーブ 左右が不均等なボレロ風ジャケット
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート ジャケットは肩幅の狭いシルエット ベルト付き ビーズ付き濃紺の靴
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン トラペーズラインのドレス
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスワンングル、人造宝石の刺繍
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモフレのコート・ドレス マンダリンカラー 袖には金色に着色した木製釦 アンダースカート付
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドール・ドレス」 黒の絹のスリッパ・ドレス
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」 絹シフォンのアンダードレス付
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージ
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス 金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン雲のデザインの薄い青色のトレーン
ジャン＝フリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス ボティスとスカート上部に金銀のスワンングルなどによる刺繍
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス 袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク バイアスカット
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール 肩パッド付きのジャケット スリットのあるタイト・スカート
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の薔薇コート 椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル 黒の毛皮のトリミング 裏地は黒のベルベット
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～05年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている S字ライン
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にばかした縞模様プリント「レインボー」
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～20年	絹 チュールにアップリケ
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにくるみ釦、ファスナー
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹 開襟カラー 両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット 前面にくるみ釦 クリノリン型のスカート チュール・ネットの下着付き
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント
バーバラ・フラニッキー / ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
バーバラ・フラニッキー / ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップボーンのフレアー・パンツ
バコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニドレス
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地 後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンのフレアー・パンツ
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション

作家名	作品名	制作年	材質
ポール・ボワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン地 銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスバングルで刺繍 裏地はライム・グリーン地の絹シフォン
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	ジュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス 前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー ボディスとスカート裾に花卉の形をアプリケ、中央のバラはステンシルによるペイント 裏地の裾に黒色の絹ベルベット
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン
ポール・ボワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元、ロウ・ウエスト
ポール・ボワレ	デイ・ドレス「ブリトニス」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前にゴム
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールドギルド糸刺繍 袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント ウエストに二つのポケット 黒の絹の縁
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント 襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン 伸縮性のある袖口 2つのポケット
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント 濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟袖も青の絹で縁取り
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアス・カット
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス サーキュラー・スカート ホルター・ネック 黒い絹サテンのアンダー・ドレス付 黒いチュールのストール
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ 金色のステンシル・ワーク 脇、裾にトンボ玉付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き
メンブーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ 背中に深いVカット ラグラン・スリーブ
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット ライニングは絹のシルバー・ラメ フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ 茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング 襟に中国風刺繍
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン地のウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹 シダ植物と花の模様が交差するパターン 襟元と袖に毛皮 袖はカフタン風 裏地はベージュの絹ベルベット
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーバードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～20年代	白色の絹ボンジー 袖無しのボディス、パンツ
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン地のウール ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール ジャケット、ジョッパーズのパンツ

作家名	作品名	制作年	材質
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール ジャケット、ブルーマー、カラー ルースなブラウス風のボディス、セラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー
作者不詳	水浴着	1905～10年頃	濃紺のウール 上着、ブルーマー、スカート
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク 両端にタッセルの飾り
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンゴム製 銀色にペイントされた羽根模様
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーンドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス 全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅうレースの飾り 両脇に大きな飾りポケット 背中に貝ボタンの装飾
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス 前身頃に細かな装飾 襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り 後方に大きなボウ飾り
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年(1890)頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス 高い位置にウエストライン 大きくふくらんだ袖 全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾 付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横畝のある平織地)の絹の帽子
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年(1880～90)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用 襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年(1880)頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス ピンク色の絹ファイユの胸当て セラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾 七宝のボタン フランス製 "Au Printemps Paris"とラベルあり
作者不詳	男児服	明治10～23年(1870年代後半～80年代)	青色のウールのジャケット 飾りボタンの装飾 赤いシルクのライニング フランス製 "AU LOUVRE PARIS RAYON 53"とラベルあり

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～28年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～30年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～28年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～30年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポータ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

令和2年度 新収蔵作品一覧

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)
1	服飾	川久保 玲 / COMME des GARÇONS	トップ	1996(平成8)年 / 1997年春夏コレクションにて発表	赤いギンガムチェックプリント 左脇や後ろ肩に変形のあるタイトフィットの半袖 Tシャツ ナイロン70% ポリウレタン30%	
2	服飾	川久保 玲 / COMME des GARÇONS	スカート	1996(平成8)年 / 1997年春夏コレクションにて発表	ピンク色のギンガムチェックプリント ゴムで所々シャーリングを寄せたタイトフィットのロングスカート 右前に変形あり コットン100% 白の平ゴム	

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	日本画	横山 華山	龍虎図屏風	江戸時代後期 19世紀初め	紙本墨画、六曲一双	各143.5×328.0
2	日本画	山本 栞谷	遊魚図	弘化3(1846)年	絹本着色、一幅	129.6×57.9
3	日本画	松林 桂月	菊花双鶏図	大正11(1922)年	絹本着色、一幅	150.1×42.3
4	服飾	不詳	子ども用ドレス	1850～60年	綿 カットワーク刺しゅう	
5	服飾	不詳	イヴニング・シューズ	1920年代	革 Tストラップ ビーズとスパンダ ルで刺繍	23.0×7.0×12.0
6	服飾	不詳	手袋	1920年代	革 チェーンステッチによる刺しゅう	7.0×22.5
7	服飾	不詳	ネックレス	1920年代	パール 象の彫刻がされた石	49.0×5.0
8	服飾	不詳	イヴニング・バッグ	1920年代	炎のような図柄にビーズ編み	10.5×10.0、 持ち手28.0
9	服飾	不詳	ヘッド・ドレス	1920年代	金糸にクリスタルビーズを配した帽 子型	Φ57cm
10	服飾	森 英恵	デイドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き	
11	服飾	森 英恵	デイドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き	
12	服飾	森 英恵	デイドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き	
13	服飾	森 英恵	デイドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント ベルト付き	
14	服飾	森 英恵	デイドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工	
15	服飾	不詳	敷布	昭和初期	手績みの藤糸を経糸と緯糸に使い 平織	63.0×75.0
16	服飾	宮崎 マセ	敷布	昭和58年以降平成 元年まで(1983 ～90)年	手績みの葛糸を経糸と緯糸に使い 平織	32.0×32.0
17	彫刻	澄川 喜一	S君	1959年	ブロンズ	33.0×20.0×27.0
18	彫刻	澄川 喜一	裸婦	1958年頃	ブロンズ	46.0×11.0×11.5
19	彫刻	澄川 喜一	Kさん	1960年	ブロンズ	36.0×23.0×36.0
20	彫刻	澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	146.5×64.0×58.0
21	彫刻	澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	御影石、樺、杉	63.0×28.3×15.0
22	彫刻	澄川 喜一	無題[スポーツ功労者顕彰 記念像]	1978年	ブロンズ	51.0×13.0×15.0
23	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺、カラントス	127.5×74.5×16.0
24	彫刻	澄川 喜一	種	1982年	樺、樟	33.0×23.0×8.5
25	彫刻	澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カラントス	60.5×42.0×35.0
26	彫刻	澄川 喜一	フェニックスの翼 A	1982年	ブロンズ	165.0×56.0×30.0
27	彫刻	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち 83	1983年	樺、松	240.0×160.0×105.0
28	彫刻	澄川 喜一	MASK	1985年	樟	41.0×42.5×27.0
29	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	樺	77.0×87.0×23.0
30	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 86	1986年	松、樺、鉄板	300.0×90.0×90.0
31	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち-D	1987年	樺、松、鉄板	233.0×325.0×30.0

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
32	彫刻	澄川 喜一	TO THE SKY C	1992年	ステンレス、黒御影石	230.0×65.0×38.0
33	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち95	1995年	樺	240.0×62.0×57.0
34	彫刻	澄川 喜一	お月さま	1995年	樺、チーク	236.0×139.0×35.0
35	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	1995年	黒御影石、金箔	16.0×70.0×22.0
36	彫刻	澄川 喜一	ほしあかり	1995年	黒御影石、金箔	82.0×32.0×24.0
37	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	1996年	ブロンズ	83.5×114.5×10.8
38	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 97-3	1997年	樺、一位、ステンレス	205.0×200.0×37.0
39	彫刻	澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	36.0×26.0×17.0
40	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 4	1999年	樺	236.0×54.0×37.0
41	彫刻	澄川 喜一	翼 3	1999年	樺、樟	42.0×68.0×17.0
42	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 99	1999年	樺	278.0×159.0×70.0
43	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 3	1999年	樺、黒壇	118.0×10.0×9.0
44	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 5	1999年	樺	124.5×38.0×15.0
45	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 7	1999年	樺	71.0×60.0×11.0
46	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち A	1999年	樺、カラントス	205.0×230.0×53.0
47	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち B	1999年	樺	93.5×112.0×13.5
48	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	268.0×97.0×70.0
49	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	345.0×120.0×80.0
50	彫刻	澄川 喜一	風	2001年	黒御影石	150.0×26.8×41.0
51	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 01-1	2001年	樺、チーク、松、鉄板	310.0×130.0×30.0
52	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-4	2002年	松	232.0×93.0×27.5
53	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-1	2002年	樺	205.0×193.0×60.0
54	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-3	2002年	樺、檜	280.0×116.0×41.0
55	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち G	2002年	樺	99.0×19.0×31.5
56	彫刻	澄川 喜一	太陽	2002年	赤御影石	46.0×28.0×19.0
57	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 03	2003年	樺、檜、ステンレス	310.0×90.0×90.0
58	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 04	2004年	樺、ステンレス	250.0×180.0×90.0
59	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2004年	神代樺、樺、ステンレス	88.0×82.0×19.0
60	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち d	2005年	ステンレス	78.0×87.0×17.0
61	彫刻	澄川 喜一	翔 II	2005年	神代樺、ステンレス	43.0×61.0×35.0
62	彫刻	澄川 喜一	瀧	2005年	杉、樺	122.0×19.0×10.0
63	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 05	2005年	神代樺、樺、檜	240.0×172.0×42.0
64	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 06	2006年	神代樺、樺、ステンレス	197.0×180.0×70.0
65	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、檜	102.0×30.0×20.0
66	彫刻	澄川 喜一	木霊 A	2007年	檜、樟	127.0×31.0×30.0
67	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	神代樺、樺	211.0×65.0×27.0
68	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち O	2007年	神代樺、樺	90.5×10.5×10.2
69	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、杉	208.0×205.0×46.0
70	彫刻	澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	170.0×24.0×24.0
71	彫刻	澄川 喜一	木の華	2007年	杉、樺、カラントス	88.0×28.0×24.5
72	彫刻	澄川 喜一	MASK	2007年	チーク、樺	56.0×21.0×15.8
73	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 15	2007年	栗、槐、榎、樺	97.5×24.0×14.5
74	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 18	2007年	樺	113.0×13.0×10.5
75	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち A	2008年	樺	137.0×30.0×22.0
76	彫刻	澄川 喜一	木霊 B	2008年	檜、カラントス	112.0×30.0×18.0
77	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 2008	2008年	神代樺、樺、檜	190.0×162.0×52.0
78	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち N	2008年	栗、榎、槐	44.0×79.0×12.0
79	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 2009	2009年	神代樺、樺	228.0×118.0×53.0
80	彫刻	澄川 喜一	矢羽根 I	2010年	神代樺、樺	219.0×55.5×26.3
81	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 2010	2010年	樺	212.5×167.0×39.0
82	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち a	2010年	樺	179.0×161.5×38.5
83	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち f	2010年	樺	107.0×106.0×29.0
84	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち A	2011年	樺	213.0×129.0×30.0
85	彫刻	澄川 喜一	TOWER	2012年	樺	111.0×21.0×22.0

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
86	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち C	2012年	神代樺	156.5×34.5×27.5
87	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち D	2012年	神代樺、樺	179.0×111.0×37.5
88	彫刻	澄川 喜一	翔 A	2012年	神代樺、ステンレス	137.0×70.0×40.0
89	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち F	2012年	樺、桂	43.0×129.0×15.5
90	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたちB	2012年	樺	227.0×52.5×38.0
91	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち 2012	2012年	樺	233.5×100.0×54.0
92	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2013年	樺	84.0×15.0×14.5
93	彫刻	澄川 喜一	TO THE SKY III	2015年	樺	65.5×15.0×11.0
94	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	黒壇、樺	30.5×10.5×5.5
95	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち n	2015年	ローズウッド、樺	32.0×12.2×10.0
96	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち f	2015年	白檀、樺	7.5×44.0×8.5
97	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	神代樺、樺	26.0×44.5×8.0
98	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2017年	樺	216.0×58.0×45.5
99	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2018年	杉	215.0×85.0×50.0
100	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	槐、樺、神代樺	210.0×48.5×38.0
101	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	48.0×19.0×7.5
102	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樟	47.0×18.0×9.5
103	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	26.5×52.0×11.0
104	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺、カラントス	210.0×64.0×50.0
105	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺	約130.0
106	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたちY	制作年不詳	樺	117.0×25.0×24.0
107	彫刻	澄川 喜一	SCULL	制作年不詳	カラントス	パーツが4つに分かれる ／1パーツ約70～80
108	彫刻	澄川 喜一	MASK	制作年不詳	樺、カラントス	63.0×21.0×57.0
109	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳(初期)	樺	約80.0
110	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、松	約180.0
111	彫刻	澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、杉	67.0×125.0×32.0
112	資料	澄川 喜一	ブロンズ像の石膏原型 (3点)	制作年不詳	石膏	ベース込み 520.0×250.0×400.0 顔のみ 370.0×250.0×400.0
113	資料	澄川 喜一	Kさんの石膏原型	1960年	石膏	115.0×38.0×66.0
114	資料	澄川 喜一	石膏原型	制作年不詳	ステンレス、金箔	100.0×70.0×25.0
115	資料	澄川 喜一	横浜みなとみらい線馬車 道駅モニュメント「金波・ 銀波」のマケット	制作年不詳	石膏	高さ約60～80
116	資料	澄川 喜一	肖像彫刻の石膏原型 (4点)	制作年不詳	金属	高さ約130.0
117	資料	澄川 喜一	大分空港 モニュメント「TO THE SKY」のマケット	1993年		
118	資料		作家資料一式			

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「森英恵 世界にはばたく蝶」展 水戸芸術館 令和2年2月22日～5月6日	森英恵《イブニングドレス「赤い蝶のドレス」》 森英恵《イブニングドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」》
「編纂1300年 日本書記と出雲」展 島根県立古代出雲歴史博物館 令和2年10月9日～12月6日	松本楓湖《八岐大蛇》
特別展「自然の秘密をさぐる」展 下関市美術館 令和3年1月30日～3月14日	五百城文哉《富士図》 大下藤次郎《小丹波》 三宅克己《伊豆海岸》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	5,548	0	138	0	138	0	0	298	298
5月	4,606	0	0	0	0	0	0	84	84
6月	8,691	0	330	0	330	22	33	742	797
7月	11,425	0	544	0	544	440	589	957	1,986
8月	12,833	0	761	0	761	1,216	698	1,420	3,334
9月	13,558	719	1,128	20	1,867	1,071	842	1,296	3,209
10月	20,014	4,805	3,708	0	8,513	1,863	706	1,634	4,203
11月	22,958	4,845	4,040	0	8,885	1,199	1,910	3,329	6,438
12月	15,350	179	755	1,007	1,941	2,077	2,457	1,648	6,182
1月	10,441	1,073	898	15	1,986	1,484	554	912	2,950
2月	15,012	1,267	731	1,367	3,365	1,317	1,465	1,344	4,126
3月	15,079	1,057	0	0	1,057	1,181	899	1,776	3,856
合計	155,515	13,945	13,033	2,409	29,387	11,870	10,153	15,440	37,463

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	60	130	0	214	36	149	130	719
10月	133	623	0	1,712	847	794	696	4,805
11月	198	572	0	1,407	1,171	563	934	4,845
12月	3	22	0	25	22	64	43	179
1月	7	116	0	253	65	411	221	1,073
2月	17	115	0	350	75	306	404	1,267
3月	22	137	0	257	81	204	356	1,057
合計	440	1,715	0	4,218	2,297	2,491	2,784	13,945

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	0	0	14	7	0	110	7	138
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	48	39	12	207	24	330
7月	0	0	132	106	22	260	24	544
8月	0	13	279	114	27	272	56	761
9月	60	0	148	212	180	349	179	1,128
10月	133	0	255	983	847	794	696	3,708
11月	198	2	282	803	1,183	622	950	4,040
12月	3	3	118	116	71	318	126	755
1月	7	0	65	129	65	411	221	898
2月	13	0	44	155	47	221	251	731
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	414	18	1,385	2,664	2,454	3,564	2,534	13,033

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
竹久夢二と乙女たち	令和2年4月18日(土)～6月8日(月)【中止】	—	—
北斎-永田コレクション名品展	令和2年9月26日(土)～11月23日(月)	51	10,369
生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜	令和2年12月25日(土)～令和3年2月20日(月)	46	2,519
ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会 ノノ かみと布の原郷	令和3年3月20日(土・祝)～3月31日(水)	51	1,057
合計			13,945

*全会期：令和3年3月20日(土・祝)～5月16日(日)

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
978	976	981	998	1,000	1,018	1,042	1,039	1,020	1,006	998	974

収支概要

■収支概要

センター運営費	22,256
指定管理委託料	370,318
企画展事業費	68,397
コレクション展事業費	3,841
調査研究・研修費	2,353
美術作品収集費	4,810
センター利用促進事業費	1,000
合 計	472,975

企画展	5,366
常設展	676
パスポート	1,356
目的外使用料	3,089
合 計	10,487

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日
島根県条例第51号
改正 平成17年7月19日条例第39号
平成26年3月18日条例第1号
平成31年3月8日条例第1号
平成31年4月26日条例第27号
令和2年3月24日条例第10号

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則で定める書類を添付して、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

- 2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。
 - (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
 - (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
 - (2) 12月30日から翌年の1月3日まで
 - 2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。
- （平17条例39・一部改正）

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。
 - (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
 - (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
 - (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
 - (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。
- 3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。
- 3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。
- 4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、知事が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

（知事が別に定める日＝平成17年10月8日）

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年条例第1号）抄

改正 平成31年4月26日条例第27号

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

(平31条例27・一部改正)

附 則 (平成31年条例第27号)

この条例は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。

(施行の日=令和元年5月1日)

附 則 (令和2年条例第10号)抄

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

(平26条例1・平31条例1・一部改正)

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 32,090	円 42,790	円 53,490	円 64,200	円 85,600	円 107,000
		土、日曜日 及び休日	38,510	51,360	64,190	77,040	102,720	128,410
	1階席	平日	21,390	28,520	35,660	42,790	57,060	71,330
		土、日曜日 及び休日	25,670	34,230	42,790	51,360	68,470	85,600
小ホール		平日	8,550	11,400	14,250	17,110	22,820	28,520
		土、日曜日 及び休日	10,260	13,670	17,110	20,530	27,370	34,230
スタジオ1			4,830	6,440	8,060	9,670	12,900	16,140
スタジオ2			980	1,320	1,660	1,980	2,650	3,330
大ホール大楽屋1			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール大楽屋2			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール中楽屋1			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋2			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋3			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋4			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
大ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール中楽屋1			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール中楽屋2			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
多目的ギャラリー			4,000	5,340	6,690	8,020	10,700	13,380

備考

- 1 入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額(入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額)の区分に応じた額を加算した額とする。
 - ア 3,000円以下のもの 10割相当額(徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額)
 - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計		円	円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

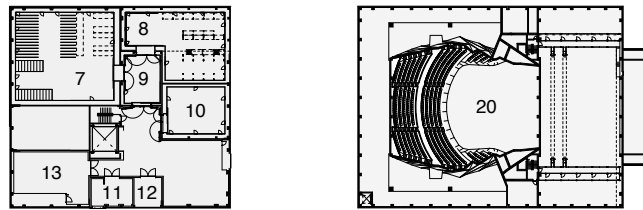
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

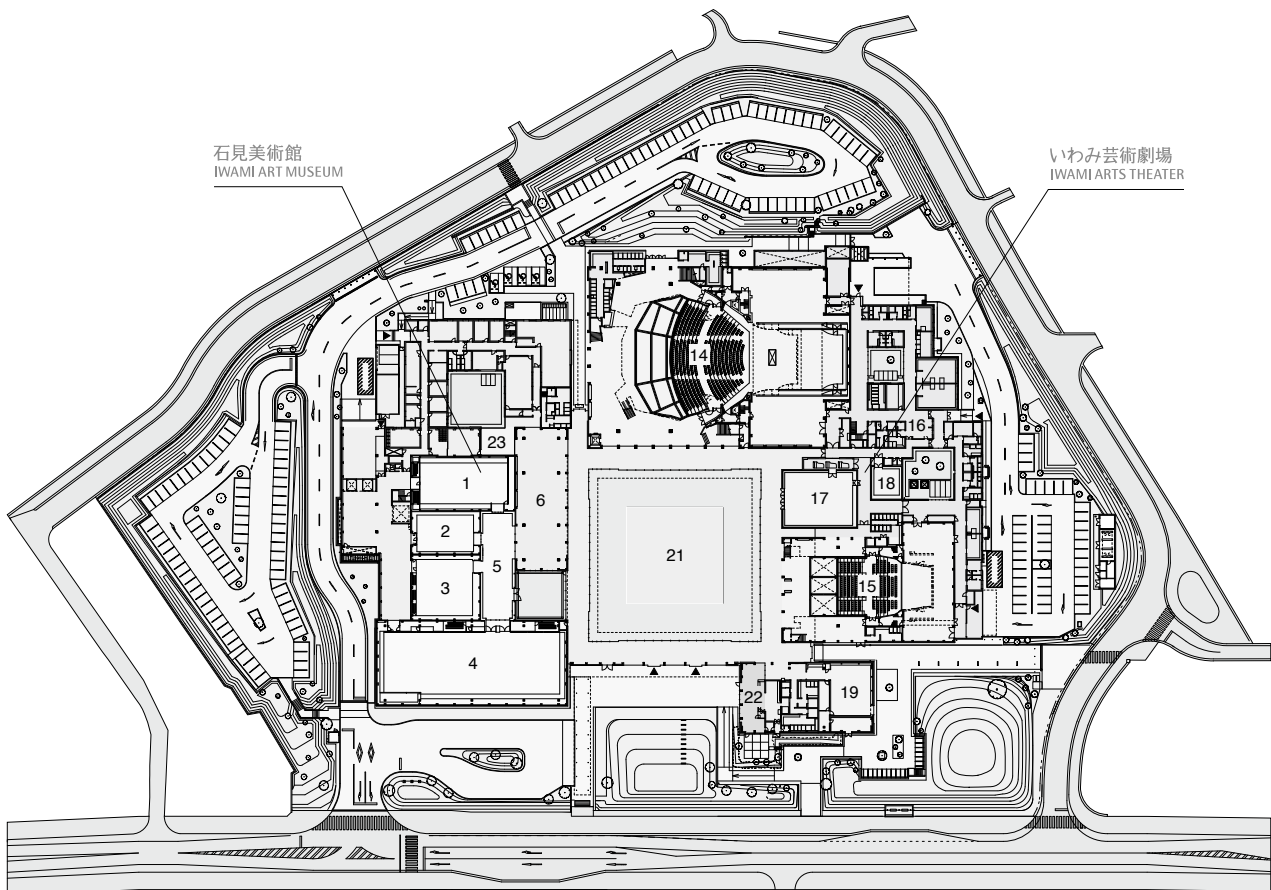
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|-----------|-----------|
| 1: 展示室 A | 8: 収蔵庫 2 |
| 2: 展示室 B | 9: 収蔵庫前室 |
| 3: 展示室 C | 10: 一時保管庫 |
| 4: 展示室 D | 11: 修復室 |
| 5: 展示前室 | 12: 隔離室 |
| 6: 美術館ロビー | 13: 写真室 |
| 7: 収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | |
|----------------|
| 14: 大ホール |
| 15: 小ホール |
| 16: 楽屋 |
| 17: スタジオ 1 |
| 18: スタジオ 2 |
| 19: 多目的ギャラリー |
| 20: 大ホール 2F 客席 |

- | |
|----------------|
| 21: 中庭広場 |
| 22: レストラン |
| 23: ミュージアムショップ |

運営組織体制

施設名称

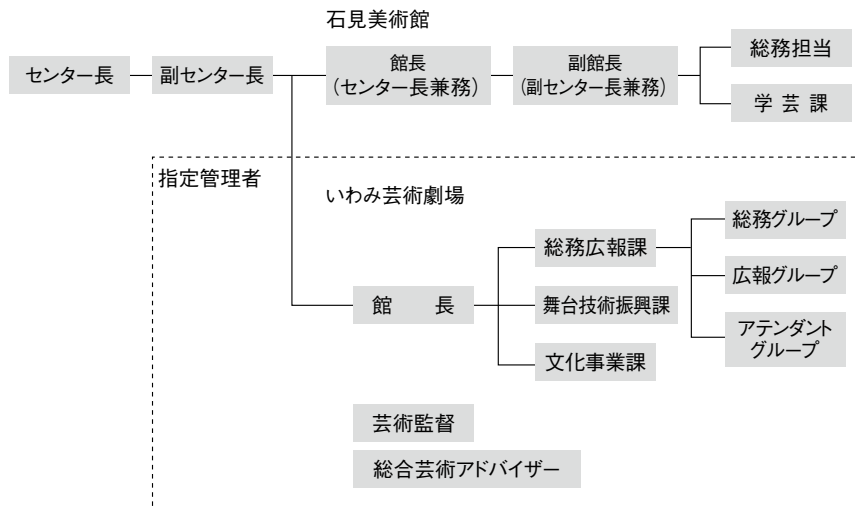
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(14名)

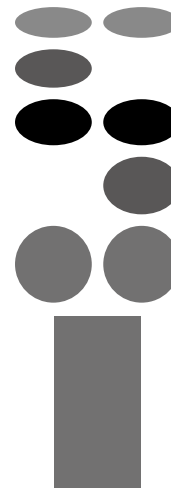
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：9：30-18：00(展示室への入場は17：30まで)
 いわみ芸術劇場：9：00-22：00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

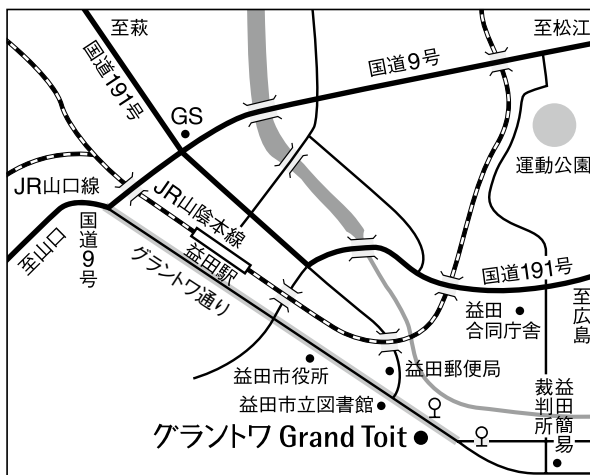
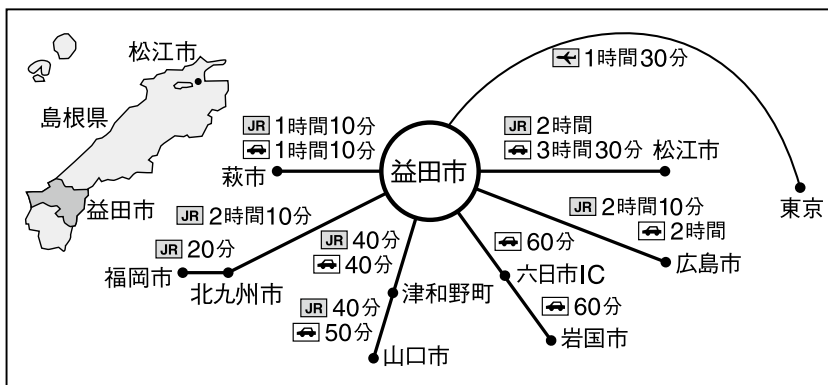
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 *()内は20名以上の団体料金 *企画展により料金が異なる場合あり
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(240台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



令和3年12月23日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM